

地域包括ケアシステムの推進に向けた新たな取組について (令和7年度加須市)

1 地域密着型サービス事業所の公募

(1) 看護小規模多機能型居宅介護事業所

退院後の在宅生活への移行や、看取り期の支援、家族に対するレスパイト等への対応など、利用者とそのご家族の状態やニーズに応じ、通い、泊まり、訪問介護、訪問看護など医療行為も含めた多様なサービスを提供する看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備に向けた公募を行っています。

(2) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

増加する認知症高齢者とそのご家族のニーズを踏まえ、認知症高齢者が安心して、地域交流のもと生活できる共同生活住居の確保に向けて、認知症対応型共同生活介護事業所の整備に向けた公募を行っています。

2 終活支援制度の普及・推進

(1) エンディングノートの無料配布

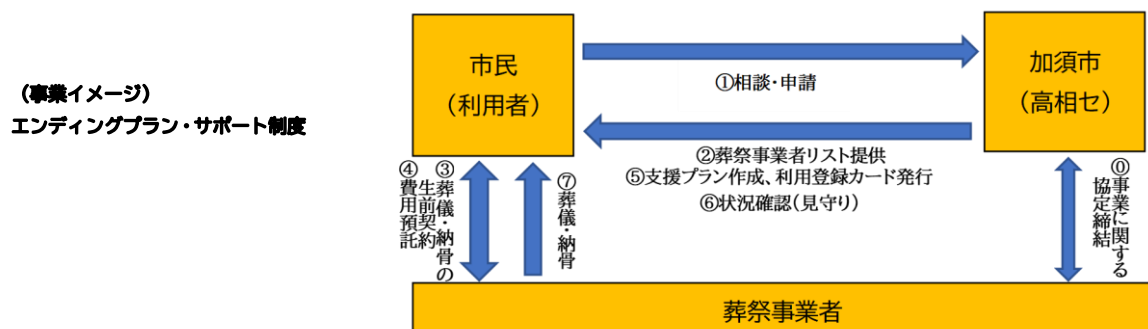
自身の望む人生を自分らしく過ごせるよう、ご自身やご家族のこと、財産のことなど必要な事項や考えをまとめるお手伝いをする冊子として、市及び協働発行事業者が発行した加須市版エンディングノートを、市役所や地域包括支援センターで無料配布しています。

(2) 終活情報登録制度

自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、親族や友人の連絡先などあらかじめ登録した情報を、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び登録した緊急連絡先等からの照会に対し、速やかに回答できる体制の整備を目的として、終活情報登録制度を令和7年度からスタートしています。

(3) エンディングプラン・サポート制度

頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安を持つ方が、安心してこれらの生前契約を締結できるお手伝いと、登録者に対する定期的な安否確認のため、エンディングプラン・サポート制度を令和7年度からスタートしています。



また、これらの終活支援制度の普及のための説明会などを行っているところです。

3 シニアボランティアポイント事業の創設

介護人材不足が懸念される介護施設等への支援と、高齢者の介護予防の推進のため、介護施設等でボランティア活動を行った高齢者に対し、活動実績に応じたポイントを付与し、ポイントに応じて、地域通貨である絆サポート券を交付するシニアボランティアポイント事業を令和7年度からスタートしています。

令和7年9月頃のボランティア活動の開始に向けて、現在は、ボランティア登録の受付等を進めているところです。

